

2022年12月期 第2四半期決算説明会



ヤマハマリンクラブ・シースタイル
// シースタイルJET

ヤマハ発動機株式会社
2022年8月5日
(証券コード:7272)

本日ご説明する内容

2022年12月期 第2四半期決算

代表取締役社長	日高 祥博
取締役上席執行役員	設楽 元文

● 業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

概要説明

本日のポイント

上期実績

■増収・減益、計画並み

- ・二輪車：需要回復継続で増収。コストアップ影響により前年並みの利益
- ・マリン：需要堅調。船外機の販売台数が増加し増収・増益
- ・ロボティクス：上海ロックダウンや半導体供給不足の影響により減収・減益

2022年業績： 売上高 2兆2,000億円 / 営業利益 2,000億円に上方修正

■事業環境

- ・原材料・部品・海上運賃等のコスト高止まり
- ・半導体納入率は改善傾向だが、正常化は来年以降
米国サプライチェーンの正常化も時間を要する
- ・円安はポジティブに影響

■市場

- ・需要は堅調。今後の景気・インフレ影響を注視

■収益力強化

- ・経費コントロールによる損益分岐点経営の継続
- ・コストダウンと価格転嫁によりコストアップを吸収

主要商品別 当社出荷台数（上期実績）

船外機の供給は回復基調。二輪車は、プレミアムモデルを中心に在庫が不足。

商品/地域		2021年比		2019年比		在庫 ※ (2022年3月末比)
		1Q出荷	2Q出荷	1Q出荷	2Q出荷	
二輪車	欧州・米国・日本	102%	90%	104%	105%	93%
	インドネシア	109%	108%	86%	76%	61%
	タイ	92%	112%	107%	105%	87%
	ベトナム	92%	111%	88%	118%	79%
	フィリピン	83%	98%	68%	82%	92%
	中国	120%	100%	268%	176%	90%
	インド	68%	182%	61%	85%	85%
	ブラジル	121%	98%	147%	148%	97%
ATV+ROV	北米	107%	100%	112%	180%	93%
PAS		79%	69%	96%	90%	-
船外機	北米・欧州	107%	116%	92%	109%	114%
マウンター		68%	98%	144%	181%	-

※二輪車・ATV+ROVは流通在庫、船外機は拠点在庫

2022年上期 経営状況

上期における最高売上高を更新。

厳しい外部環境の中、営業利益率9%以上を確保。

(億円)	2019年 上期	2021年 上期	2022年 上期
売上高	8,559	9,201	10,689
営業利益	690	1,092	1,024
営業利益率	8.1%	11.9%	9.6%
経常利益	702	1,151	1,154
当期純利益※	520	931	830

2019年 比	2021年 比
125%	116%
148%	94%
+1.5pts.	△2.3pts.
164%	100%
160%	89%

EPS(円)	148.79	266.28	241.58

164%	91%

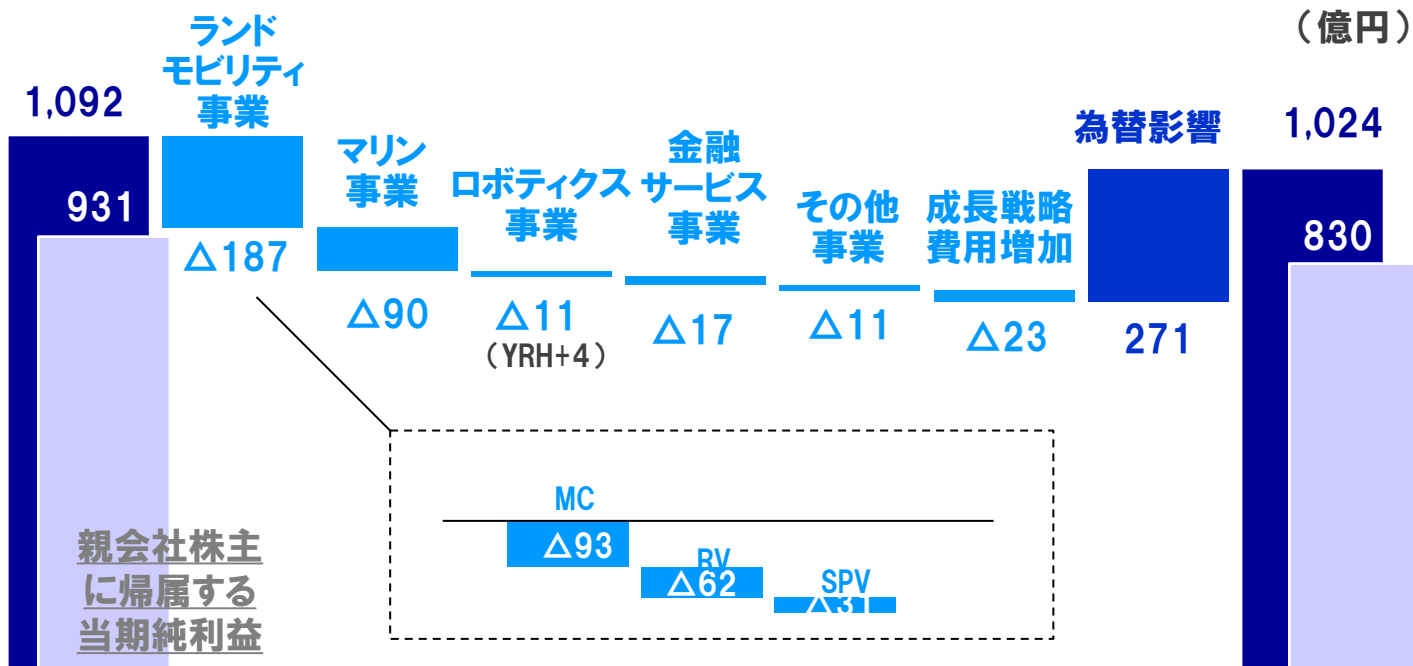
(\$・€)	110・124	108・130	123・134
(\$/IDR・BR\$)	14,126・3.8	14,206・5.4	14,386・5.1

—	—
—	—

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

2022年上期 営業利益変動要因（事業別）

コストアップ・部品不足・上海ロックダウン影響で、為替影響を除き全事業で減益。



2021年

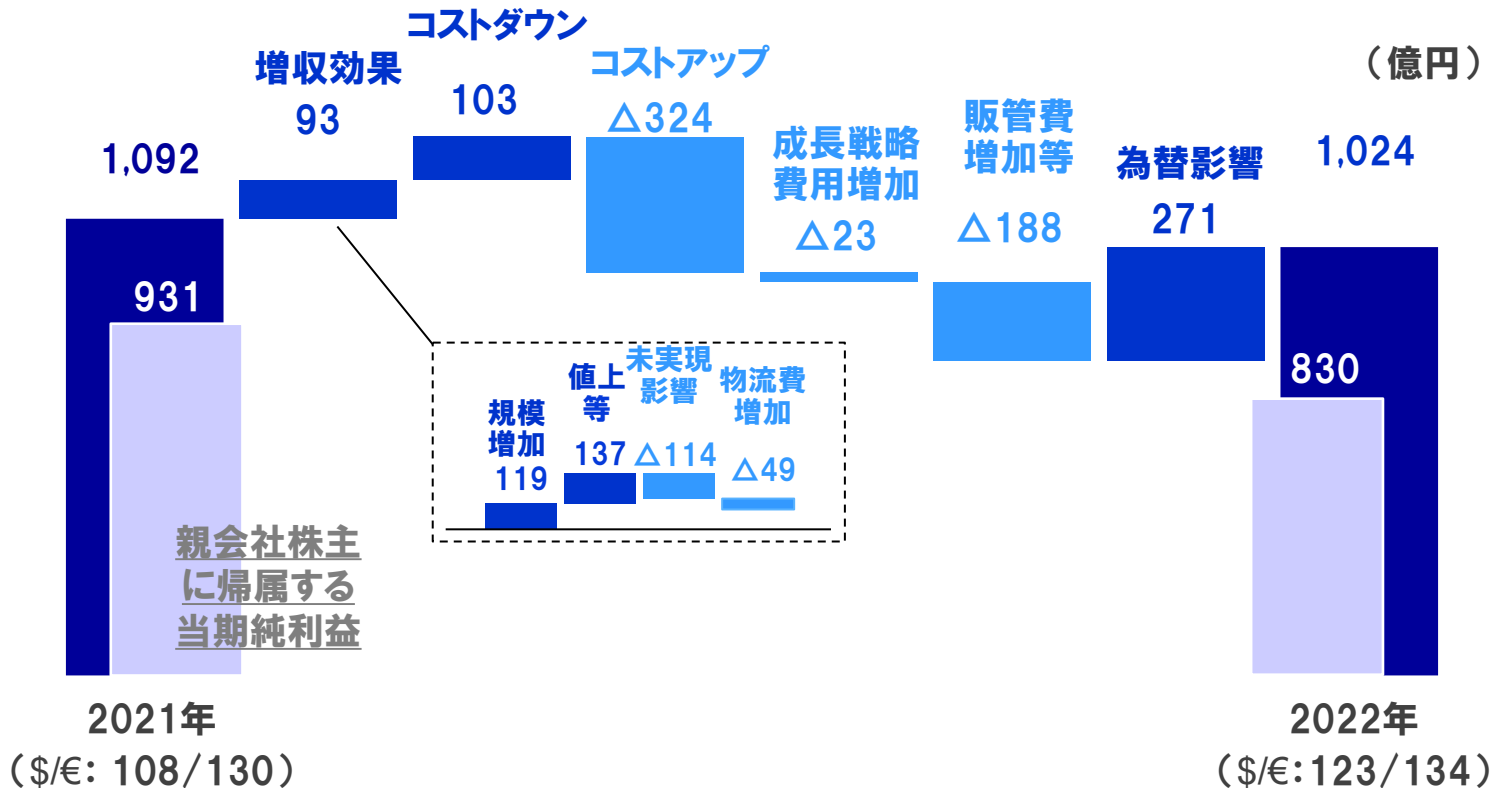
(\$/€: 108/130)

2022年

(\$/€: 123/134)

2022年上期 営業利益変動要因（要素別）

コストダウン・価格転嫁と円安効果で、コストアップ・物流費増加を吸収。
販売回復に伴う販管費の増加により、やや減益。



当社出荷台数（2022年 年間予想）

堅調な需要の継続、生産台数確保により、下期の販売は増加。

（2021年比）

（2019年比）

商品/地域		上期実績	下期見通	年間見通
二輪車	欧州・米国・日本	95%	110%	100%
	インドネシア	108%	100%	105%
	タイ	101%	120%	110%
	ベトナム	100%	145%	120%
	フィリピン	90%	115%	105%
	中国	108%	130%	120%
	インド	105%	95%	100%
	ブラジル	108%	125%	120%
ATV+ROV	北米	103%	100%	100%
PAS		74%	125%	100%
船外機	北米・欧州	111%	110%	110%
マウンター		83%	150%	110%

上期実績	下期見通	年間見通
105%	110%	105%
81%	75%	80%
106%	100%	105%
101%	95%	100%
75%	80%	80%
210%	140%	165%
73%	105%	85%
148%	175%	160%
143%	135%	125%
93%	160%	135%
109%	145%	120%
164%	195%	180%

経營業績：2022年（年間予想）

損益分岐点経営の徹底により、過去最高の売上高・営業利益を計画。

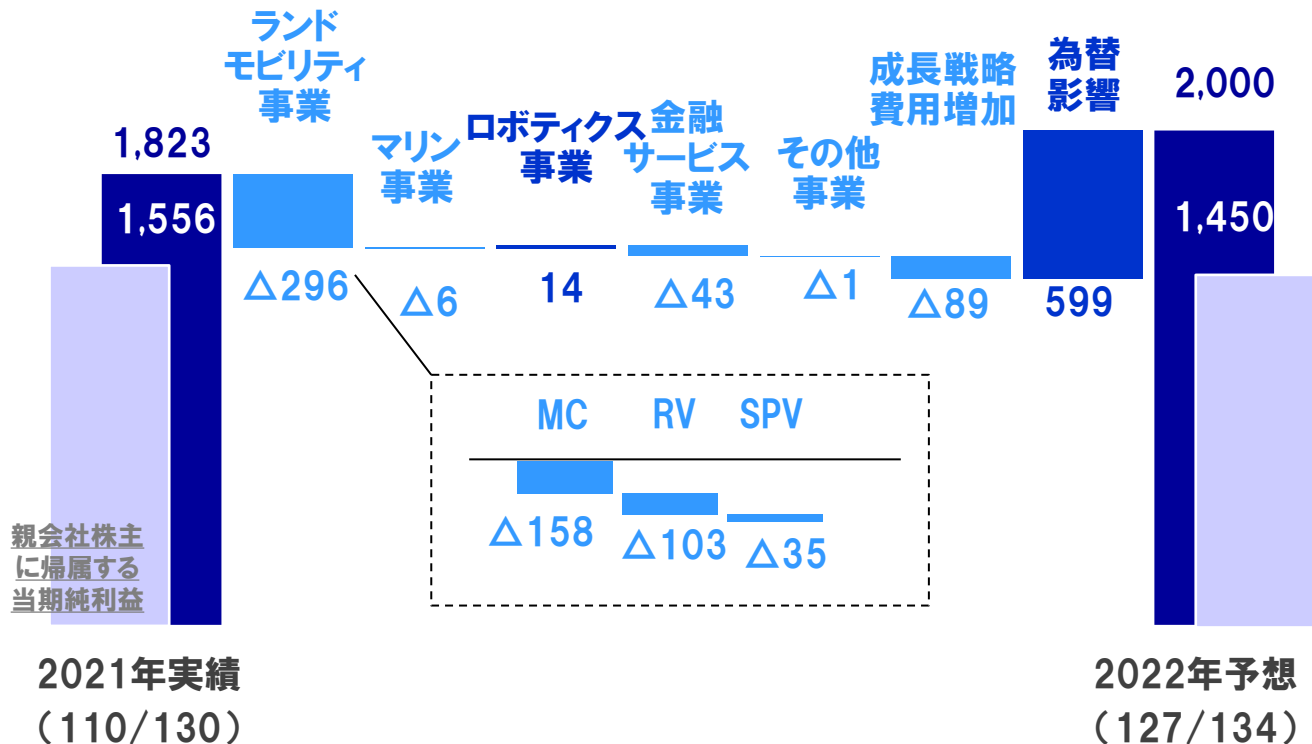
（億円）	2019年 実績	2021年 実績	2022年 前回予想	2022年 今回予想	前年比
売上高	16,648	18,125	20,000	22,000	121%
営業利益	1,154	1,823	1,900	2,000	110%
営業利益率	6.9%	10.1%	9.5%	9.1%	△1.0pts.
経常利益	1,195	1,894	1,900	2,100	111%
当期純利益※	757	1,556	1,300	1,450	93%

（\$・€）	109・122	110・130	113・128	127・134
（\$/IDR・BR\$）	14,087 3.9	14,236 5.4	14,300 5.6	14,700 5.2

営業利益変動要因（事業別）（前年 vs 今回予想）

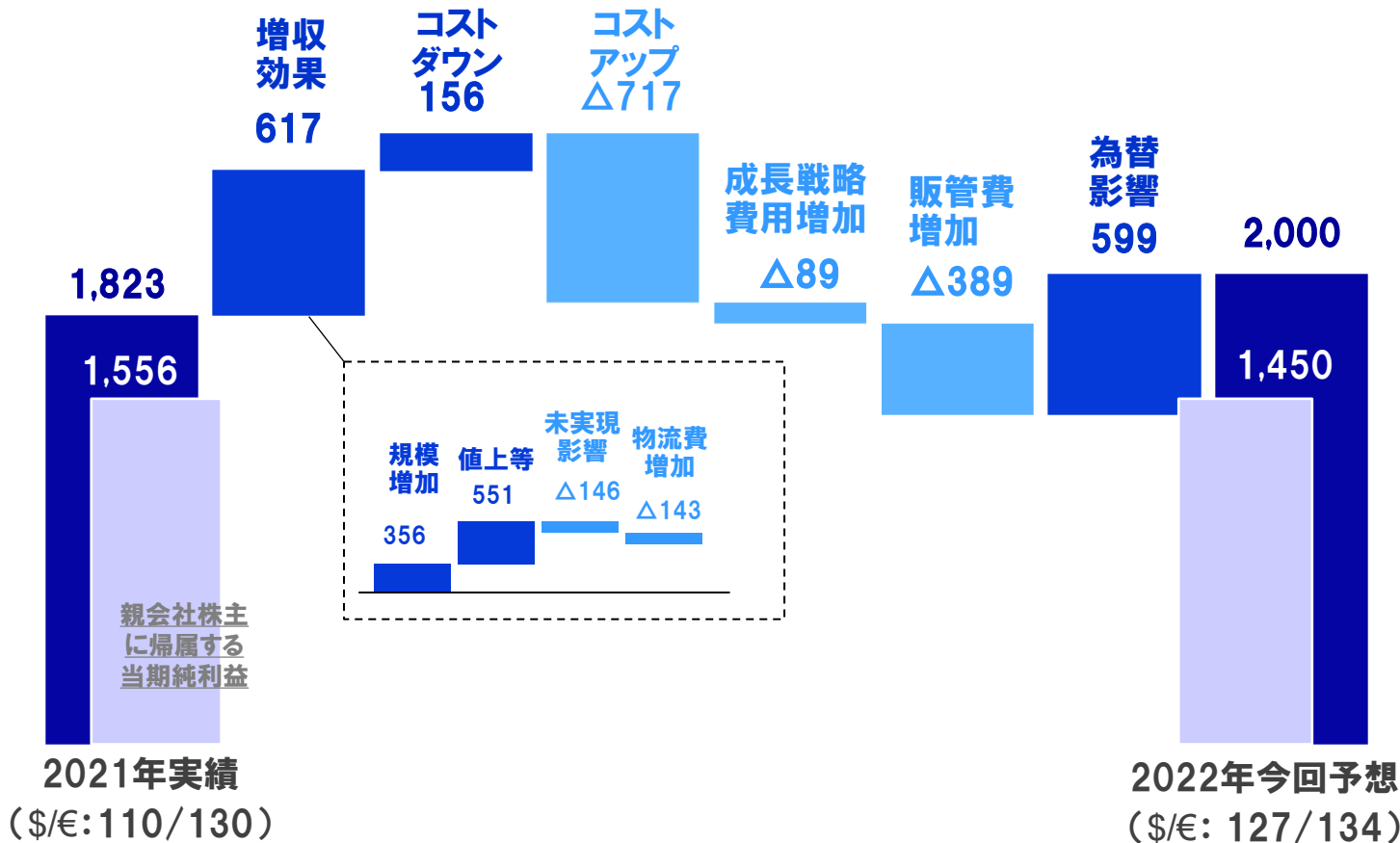
ランドモビリティ事業は、
年間を通じてサプライチェーン課題とコストアップ影響を大きく受ける。

（億円）



営業利益変動要因（要素別）（前年 vs 今回予想）

コストアップに対し、コストダウンと価格転嫁で吸収。販売活動経費はコントロール。



中長期施策 進捗状況

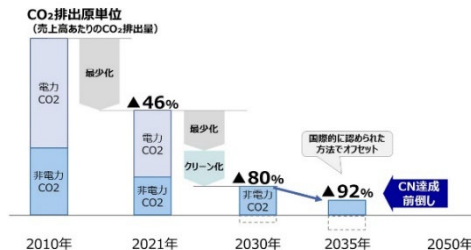
カーボンニュートラル



■自社工場でのカーボンニュートラル達成を2035年に前倒し

海外を含む自社工場の生産活動におけるCO2排出量を2035年に92%削減(2010年比)へ。

残るCO2排出量は、国際的に認められた手法でオフセットし、最終的に工場のカーボンニュートラルを達成させる。



■環境分野に特化した投資ファンド

「Yamaha Motor Sustainability Fund(ヤマハモーターサステナビリティファンド)」設立

運用総額1億ドル、運用期間15年間。

新規事業: 低速自動走行



■ティアフォーへ追加出資

工場敷地内でのモノの自動搬送ソリューション事業をはじめとした自動運転技術確立と事業化推進支援目的。3回目の出資。

■JAFと低速モビリティに関する協業契約を締結

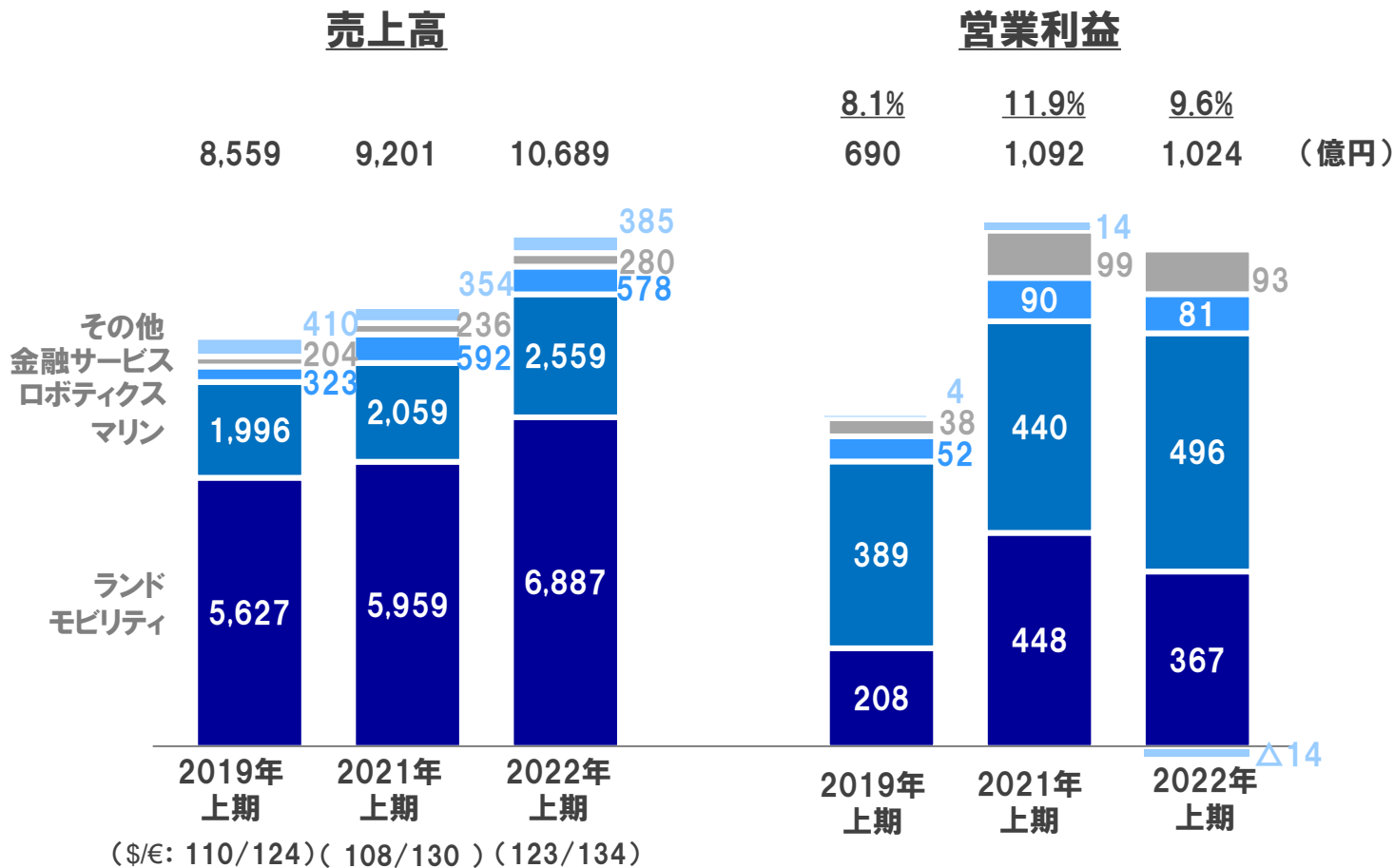
移動困難地域等での低速モビリティの導入、アフターサービスを可能にし、持続可能なモビリティサービスの提供を目指す。



広島県福山市の鞆の浦地区で稼働中の低速モビリティ

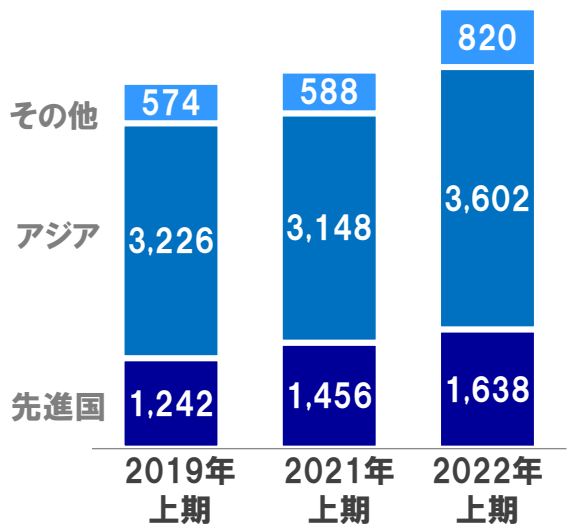
事業別説明

事業別 売上高・営業利益



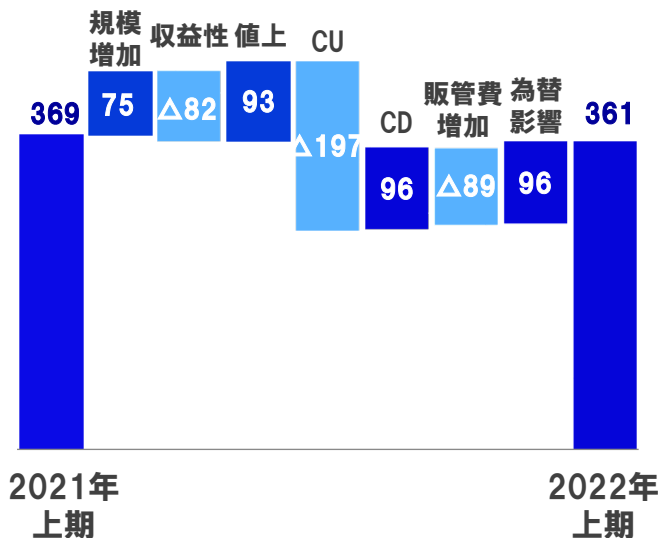
インドネシア・インド等新興国の販売増加で増収。コストアップ影響・モデルミックスの悪化をコストダウン・価格転嫁で対応し、前年並みの利益。

営業 利益率	3.7%	7.1%	6.0%
売上高 (億円)	5,042	5,193	6,060



(\$/€: 110/124) X 108/130 X 123/134)

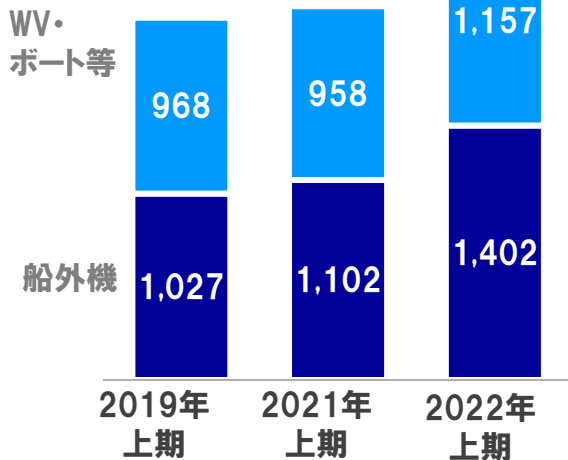
利益変動内訳



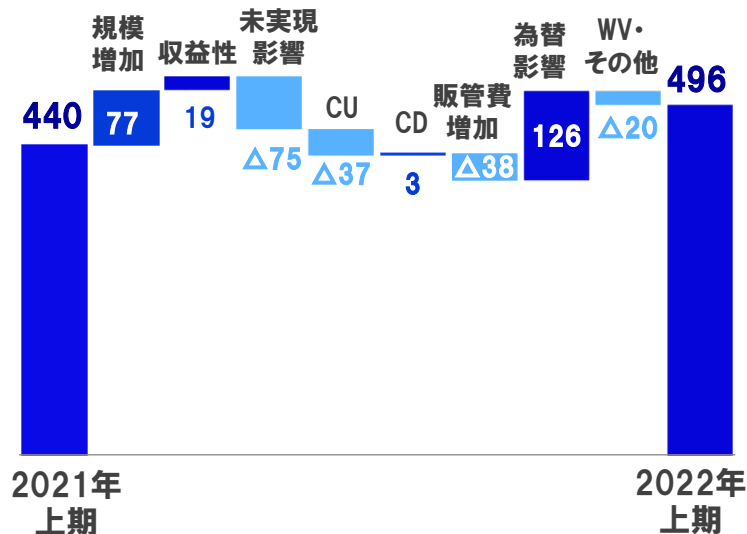
※AM配賦をその他から先進国に変更したため、2021年数値を組替。

ステイケーション需要継続。今後も、需要は堅調に推移。
船外機・スポーツボートの販売台数が増加し、増収・増益。

営業 利益率	19.5%	21.4%	19.5%
売上高 (億円)	1,996	2,059	2,559

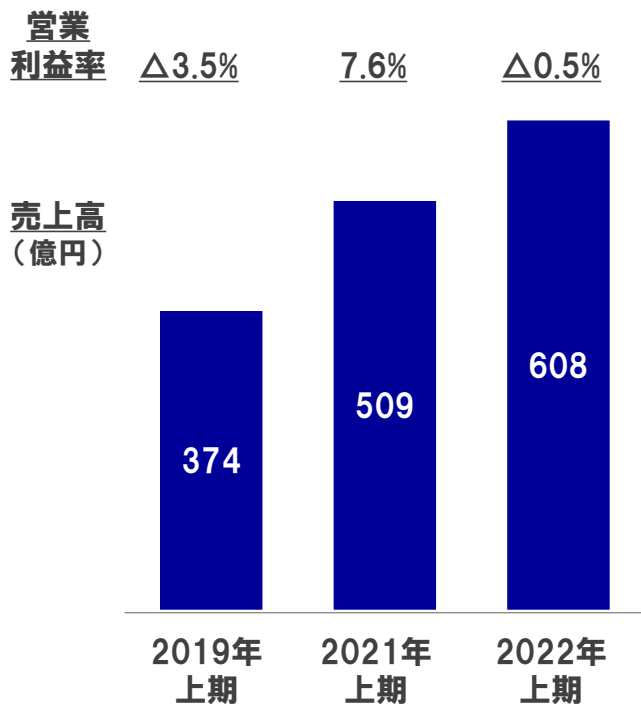


利益改善内訳



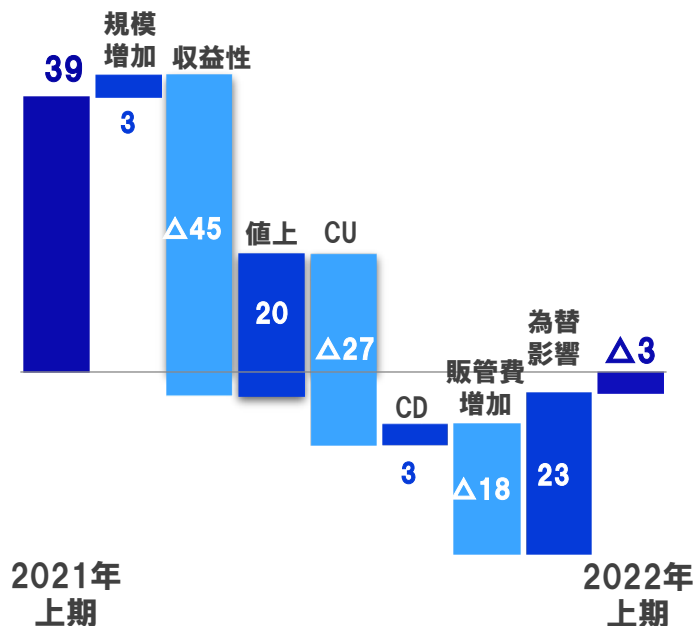
(\$/€: 110/124) X 108/130 X 123/134)

需要堅調。サプライチェーンの混乱が続く中、ROVへの資源集中により増収。
生産正常化に向けた改善活動を継続。

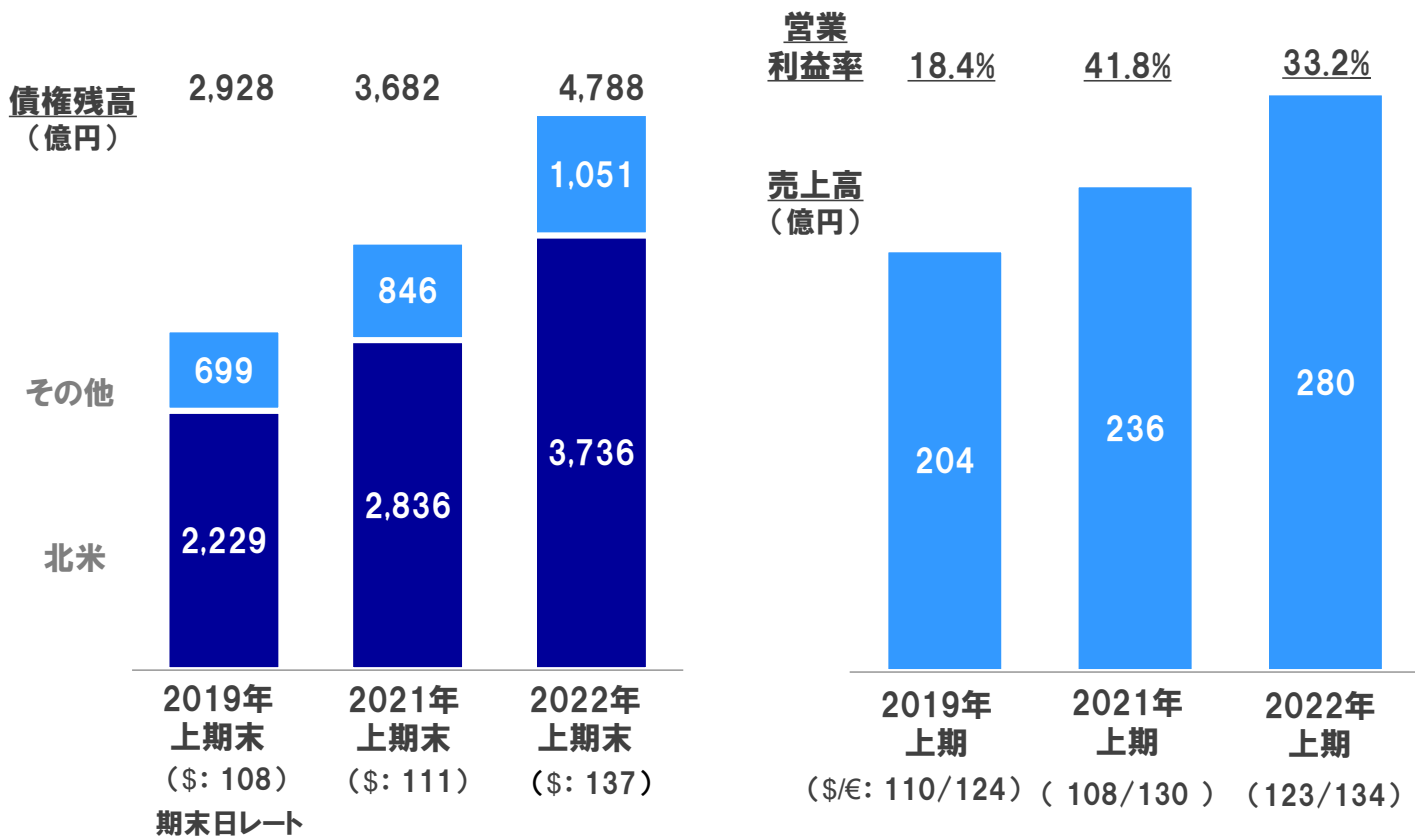


(\$/€: 110/124)(108/130) (123/134)

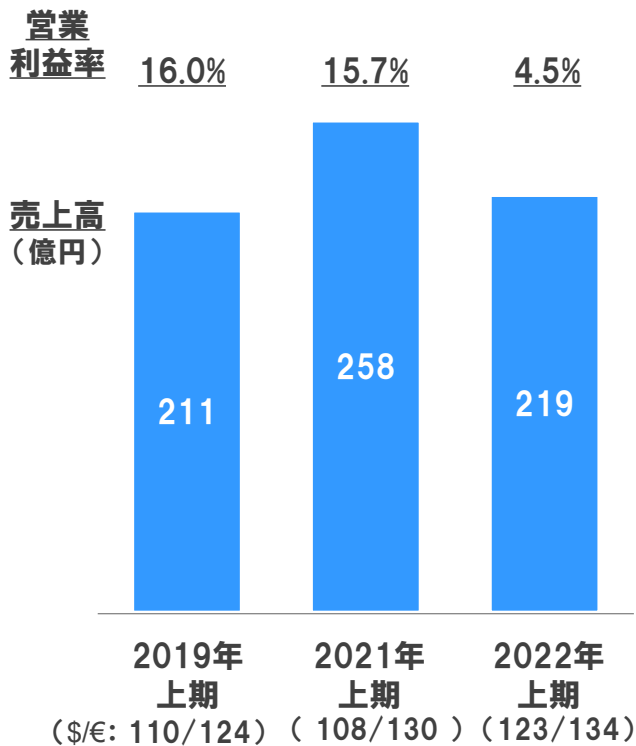
利益変動内訳



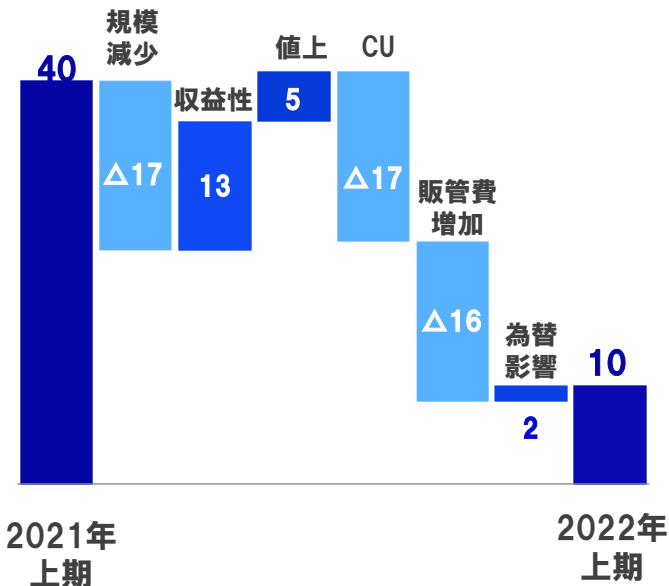
米国やブラジルで債権残高が増加。前年は一過性の貸倒引当費用の影響あり。



部品供給不足と上海ロックダウンにより、生産遅延発生。
 コストアップ影響や1Qに発生した一過性費用で利益率悪化。下期から挽回。

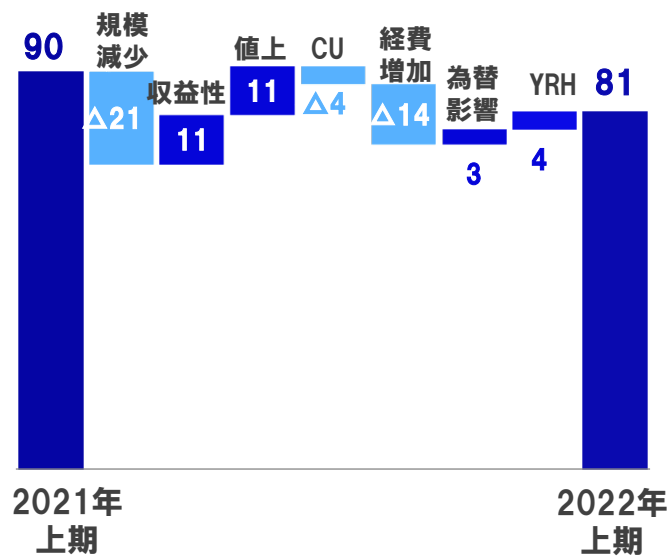
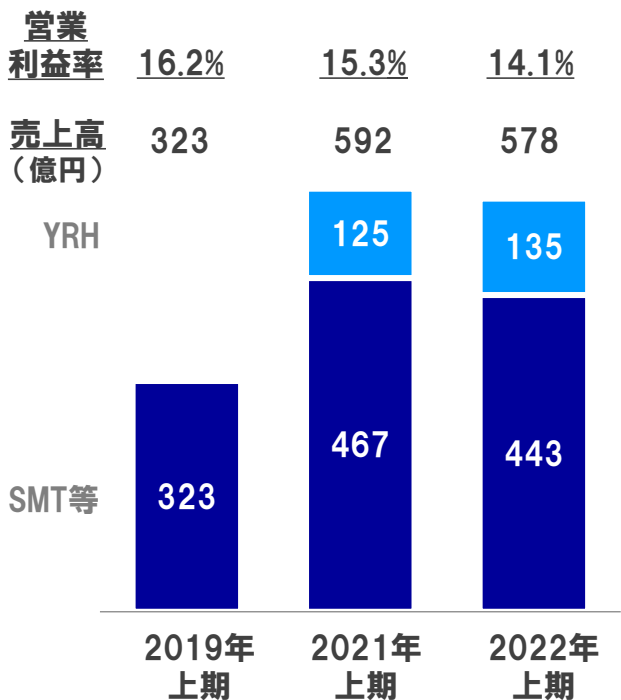


利益変動内訳



上海ロックダウンや半導体供給不足の影響により、減収。
先進国向け売上は堅調。4Q以降、供給能力改善で拡販。

利益変動内訳



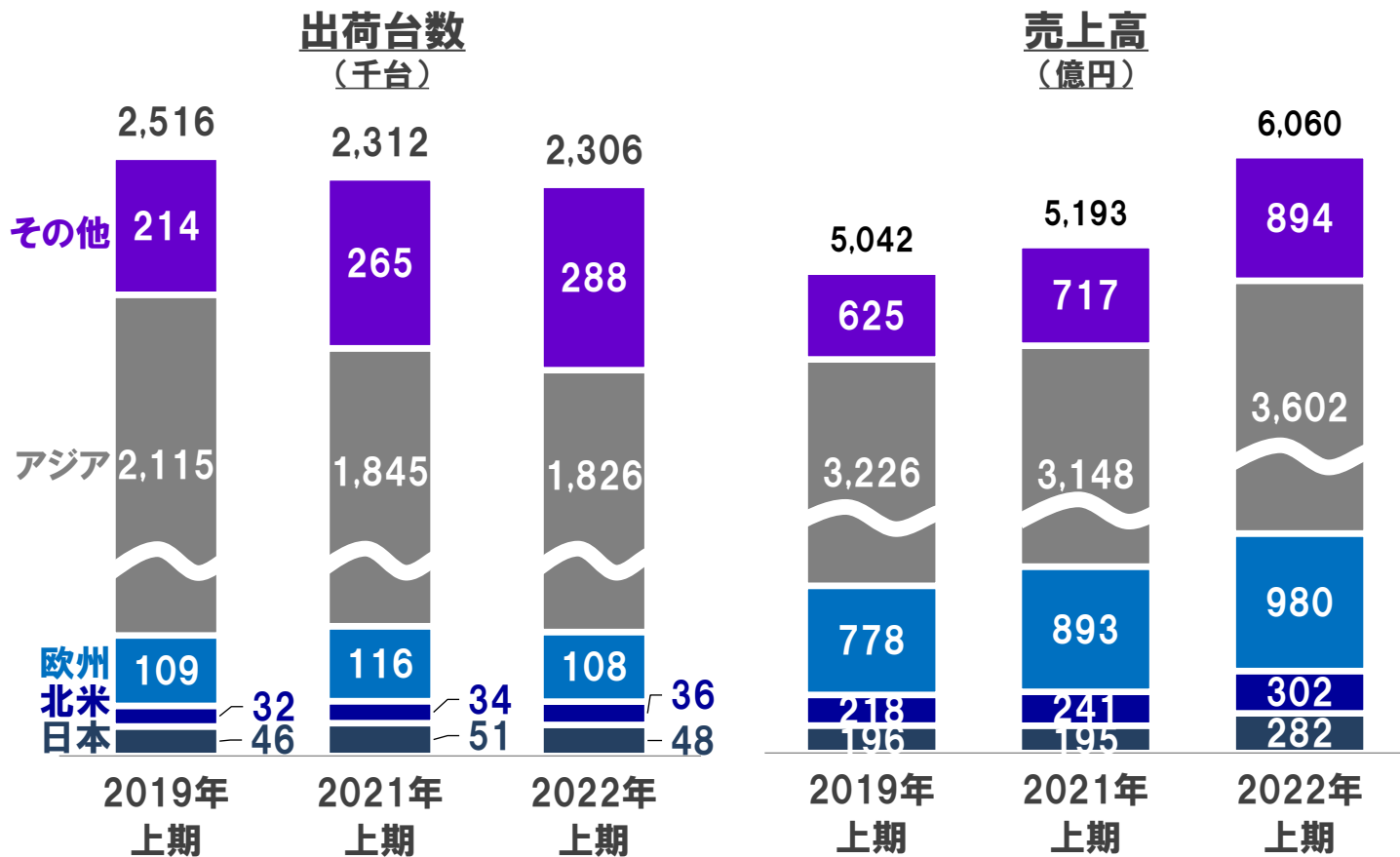
(\$/€: 110/124)(108/130) (123/134)



YAMAHA

Revs Your Heart

二輪車販売台数・売上高（上期）

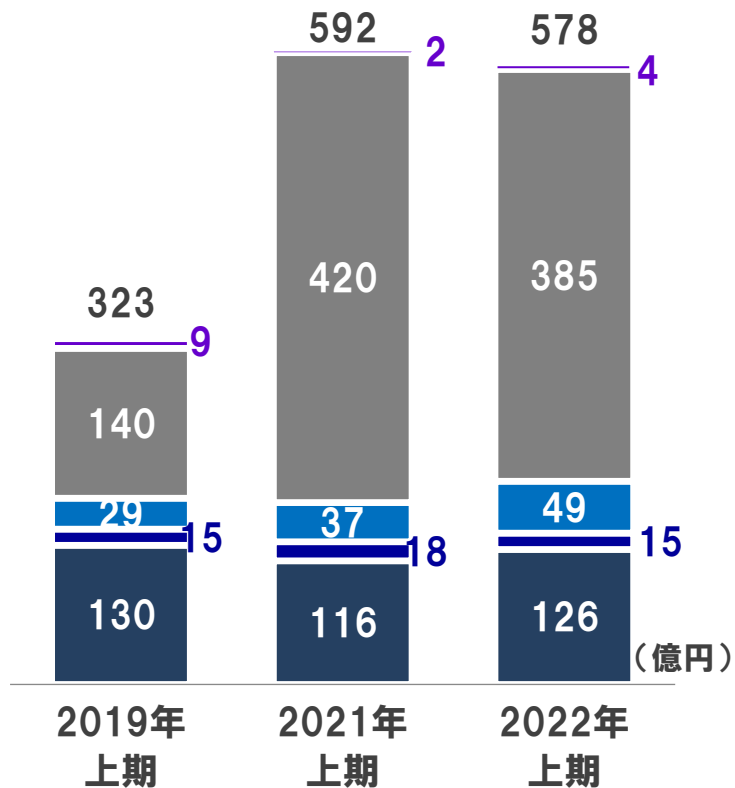
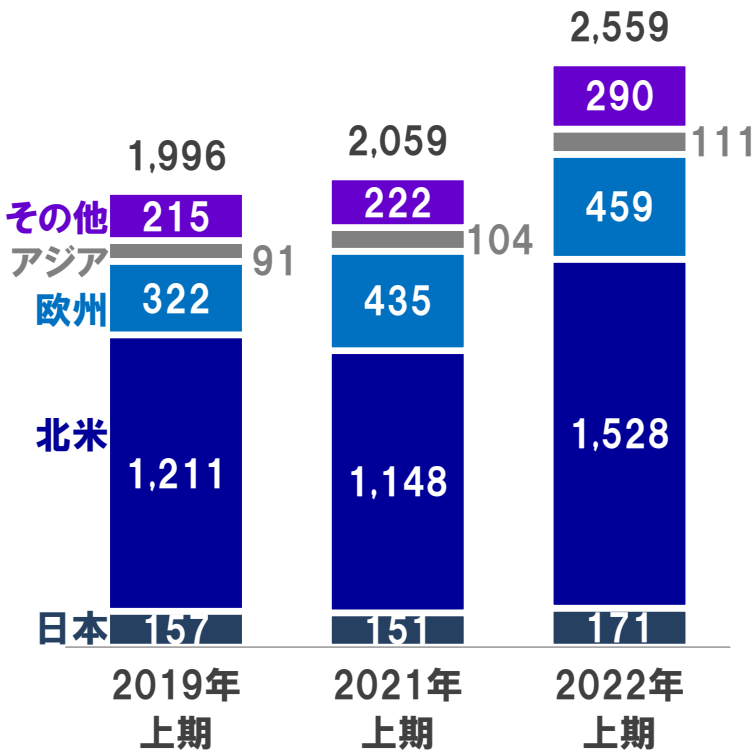


(\$/€: 110/124) (108/130) (123/134)

マリン、ロボティクス 売上高 (上期)

マリン

ロボティクス



(\$/€: 110/124)(108/130) (123/134)

(億円)

設備投資・減価償却費・研究開発費・有利子負債

(億円)

	19年上期	21年上期	22年上期
設備投資	197	261	305
減価償却費	253	252	287
研究開発費	472	450	500
有利子負債	3,441	4,846	5,892

為替影響（対前年）

(億円)	上期			
	US\$	EURO	その他	合計
本社の輸出入にかかる為替影響	147	17	17	181
為替による仕入影響（海外子会社）	0	0	29	29
粗利益の換算影響（海外子会社）	65	13	98	176
販管費の換算影響（海外子会社）	△45	△7	△63	△115
営業利益への為替影響	168	22	81	271

為替感応度

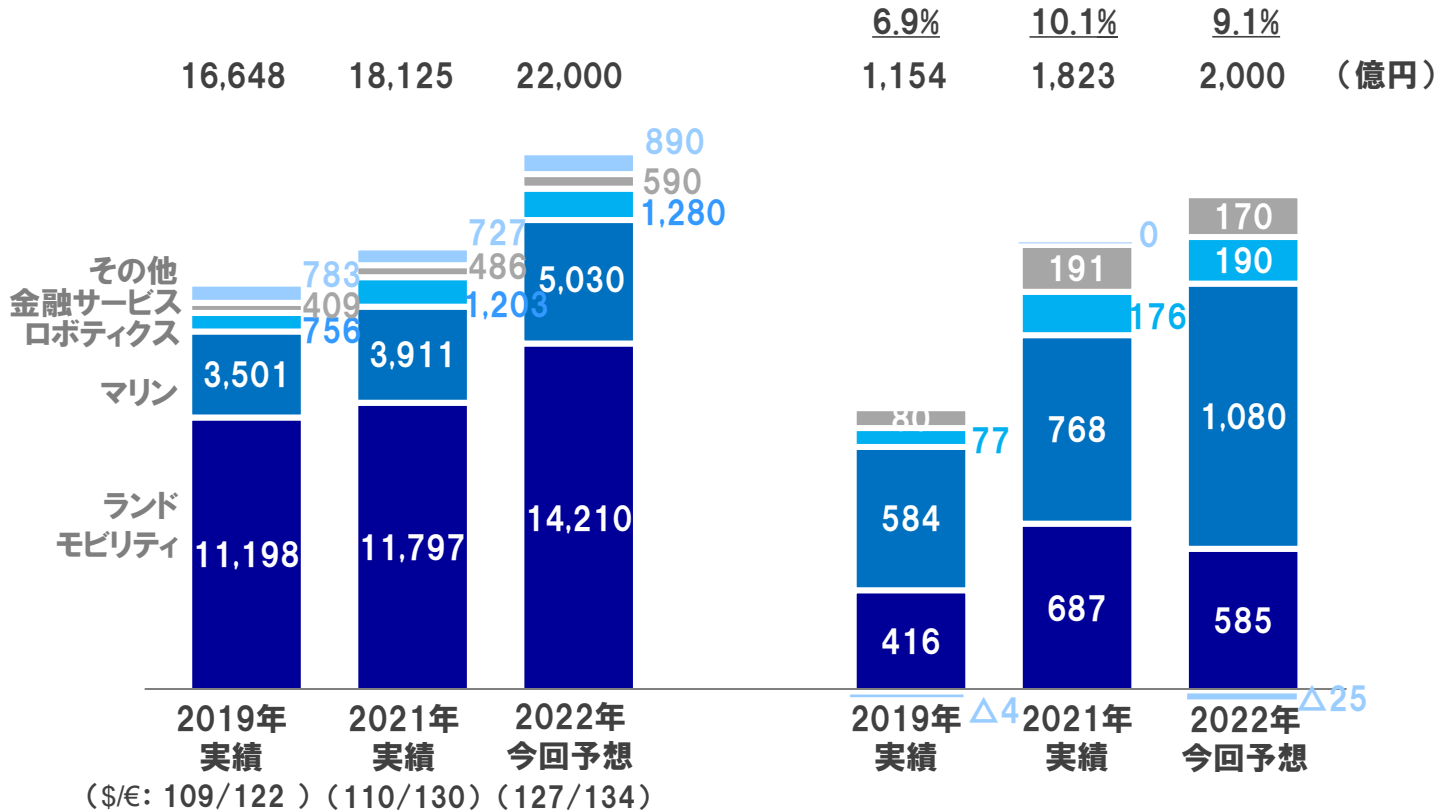
1円の変動が営業利益
に与える影響額

US\$ 9億円
EURO 5億円

事業別 売上高・営業利益（見通）

売上高

営業利益





YAMAHA

Revs Your Heart